



# 子どものこころ診療科

## 講座のアピールポイント

当センターは小児科医が診療しています。小児はストレスに弱く様々な身体の不具合（心身症）を発症しやすく、精神的な問題を抱えていても同時に内科的な診療も必要だからです。私たちは、「子どもと親のこころを育む」をモットーに、現代日本の大きな社会問題となっている「発達障害と小児心身症」に焦点をあてて、専門的な診療と研究を行っています。

発達障害に関しては、単に自閉症やADHD、学習障害などの診断を行うだけでなく、教育や地域の発達支援事業所と連携し子どもの自立をサポートしています。

小児リハ部門では、幼児だけではなく学童以上の子どもの療育を行っています。小児心身症に関連して、長期不登校、起立性調節障害、概日リズム睡眠障害、ゲーム依存の問題などを抱える子どもの生活リズムを整え、健康を取り戻す独自の入院プログラムを実施しています。

また、小児摂食障害の治療を専門的に行い、全国でも数少ない入院治療も可能な小児摂食障害治療拠点となっています。研修医、専攻医、心理実習生などへの臨床教育に力を入れています。

発達障害支援、子育て支援事業、看護協会研修事業などを毎年埼玉県から委託を受け研修会や講演会を開催しています。

## 講座研究紹介

当センターの主な研究テーマは、発達障害（特に自閉症やADHD）の病態解明と早期療育システムの構築です。脳科学的な研究も盛んであり、NIRSを用いた脳血流の変化をADHDや摂食障害を対象に検討し、国際的に評価を得ています。

小児摂食障害の研究は、心理学的な側面や生物学的な側面から様々な研究を続けています。日本小児心身医学会では2年連続して最優秀演題賞を受賞しました。

また、公的研究費を獲得し、多施設共同研究を積極的に推進しています。